

先生各位

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
 このたび下記の検査項目につきまして、検査内容を変更させて頂きたくご案内申し上げます。
 先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程、お願い申し上げます。

記

謹白

- 変更実施日 2009年12月3日(木)受付分より
- 変更理由 現試薬販売中止による測定試薬の変更。それに伴う検査方法、基準値等の変更。
- 変更内容

項目コード	案内書掲載頁	項目名称	変更箇所	新	現行
1137	40	遊離フェニトイン	検査方法	限外ろ過法KIMS	限外ろ過法FPIA
1139	40	遊離バルプロ酸	検査方法	限外ろ過法EIA	限外ろ過法FPIA
5387	42	キニジン	検査方法	KIMS	FPIA
			基準値	(血清・血漿) 2.0~6.0 $\mu\text{g/mL}$	(血清・血漿) 2.3~5.0 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	(血清・血漿)0.4 mL	(血清・血漿)0.3 mL
2574	42	プロカインアミド	検査方法	EIA	FPIA
			基準値	(血清・血漿) 4.0~10.0 $\mu\text{g/mL}$	(血清・血漿) 4.0~8.0 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	(血清・血漿)0.4 mL	(血清・血漿)0.3 mL
			採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 随時
5435	42	N-アセチル プロカインアミド	検査方法	EIA	FPIA
			基準値	(血清・血漿) 6.0~20.0 $\mu\text{g/mL}$	(血清・血漿) 5.0~30.0 $\mu\text{g/mL}$ (プロカインアミドとN-アセチル プロカインアミドの合計)
			検体量	(血清・血漿)0.4 mL	(血清・血漿)0.3 mL
			採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 随時
2578	43	トブラマイシン (ピーク値)	検査方法	EIA	FPIA
			基準値	4.0~9.0 $\mu\text{g/mL}$	5.0~10.0 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	0.4 mL	0.2 mL
			採血時刻	静注投与後1時間(Peak濃度)	点滴静注後30分以内 筋注後1時間(Peak濃度)
4857	43	トブラマイシン (トラフ値)	検査方法	EIA	FPIA
			基準値	2.0 以下 $\mu\text{g/mL}$	2以下 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	0.4 mL	0.2 mL
			採血時刻	次回投与直前(Trough濃度)	次回投与直前(Trough濃度)
2576	43	アミカシン	検査方法	KIMS	FPIA
			基準値	Peak 20.0~30.0 Trough 8.0 以下 $\mu\text{g/mL}$	Peak 20.0~25.0 Trough 10.0 以下 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	0.4 mL	0.2 mL
			採血時刻	静注投与後1時間(Peak濃度) 次回投与直前(Trough濃度)	点滴静注後30分以内 筋注後1時間(Peak濃度) 次回投与直前(Trough濃度)
5379	44	サリチル酸 (アスピリン)	検査方法	酵素法	FPIA
			基準値	抗炎症作用として 100~250 $\mu\text{g/mL}$	抗炎症作用として 150~300 $\mu\text{g/mL}$
			検体量	0.4 mL	0.2 mL
			採血時刻	次回投与直前(Trough濃度)	投与後1~3時間(Peak濃度) 次回投与直前(Trough濃度)